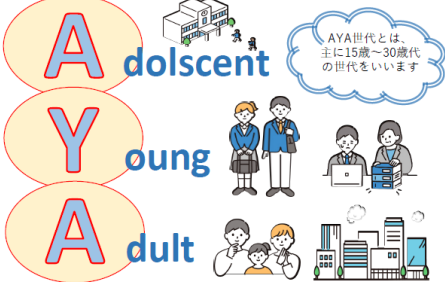


## XVIII. AYA 世代がんサポートチーム

思春期・若年成人（Adolescent and Young Adult：AYA）世代（15～39歳）である AYA 世代のがん患者さんは、疾患構成が多様であり年代によって就学、就労、生殖機能等の状況が異なる。また、心理社会的状況も様々であるため、AYA 世代の個々のがん患者さんの状況に応じた多様なニーズに対応できるよう、疾患や治療に加え、就労/就学、恋愛/結婚、経済的問題などのアンメットニーズに関する情報提供、意思決定支援や相談支援を行っている。アンメットニーズをつなげ、効果的に連携し介入や対処について対話する場を充実させ、AYA 世代がん患者・家族の診療・ケア・サポートの質の向上を目指す。



AYA世代とは、主に15歳～30歳代の世代をいいます。

AYA世代がんサポートチームにご相談ください

◎「妊孕性温存」に関するご相談  
がんの治療により今後の妊孕の可能性に影響がある場合があります。治療前に卵子や精子、胚（受精卵）を凍結保存し将来の妊孕へ将来自分子どもをもつ可能性を残す方法があります。

生殖医療センターでご相談できます。  
診療科の医師や看護師に声をかけてください。

◎造血細胞移植後の生活に関する相談  
医療者間で連携し、感染予防、GVHDの管理、食事制限、リハビリ、社会復帰などの相談をお受けします。

造血細胞移植後長期フォローアップ外来でご相談できます。お近くの医師や看護師に声をかけてください。

◎治療、お金、仕事/学校、家族や将来のことなど、様々なご相談をお受けします。

連絡先：兵庫医科大学病院がんセンター  
がん相談支援センター TEL0798-45-6762（平日10時～15時）  
<https://www.hosp.hyo-med.ac.jp/activity/cancer/support/>

### 【活動内容】

部署やチームメンバー間での診療・ケアの連携、患者さんの支援内容や関わりについて日々の部署の多職種カンファレンスの参加、面談などの直接介入に加え、緩和ケアチーム等の他の医療チームとも協働しながらコンサルテーション型チームとして活動している。チーム結成初年度でもあり、チームメンバーの知識や現状の各職種の取り組み状況の共有と各診療科の AYA 支援の現状の共有など、チームミーティング（第1回 AYA 世代がんサポートチーム会議）を開催した。AYA 世代がん患者・家族・医療者向けのリーフレットを作成し広報を開始した。さらに、「AYA 世代がん患者さんのスクリーニングシート」を作成し、がん患者の苦痛のスクリーニングと並行し運用できる体制を準備中である。

AYA 世代のがん患者・家族に対して様々なアンメットニーズの意思決定支援、就労支援、治療に伴う生殖機能等への影響の情報提供や妊孕性温存への支援、心理的苦痛等など、具体的な支援につなげ対応した。また、カンファレンスに参加し共に検討し、情報提供や調整、相談等のサポートを行った（2023年度15件）。